

子どもの笑顔、未来のために、



きのと

燦

だより

令和 8 年 4 月 10 日  
学校だより 第 1 号  
胎内市立きのと小学校

<http://tainai-kinoto-es.edumap.jp/>

伸びゆく力を育むために、みんなで力を合わせて育てましょう

## “よかった”でいっぱい 학교を

校長 高橋 路子



10 名の新 1 年生を迎え、令和 8 年度がスタートしました。今年度のきのと小学校は児童数 121 名、教職員数 25 名です。学級担任はもちろん、級外職員、特別支援教育支援員、学習指導員、技能員、スクールサポートスタッフなど全教職員で、心を一つに、子どもたちの成長を支えてまいります。今年度もよろしくお願いいたします。

4 月 7 日は着任式、始業式でした。新しい 3 名の職員を迎え、元気に登校した子どもたちと、明るく爽やかな出会いができました。どの教室も温かい雰囲気にもまれ、やる気いっぱいの子どもの表情を見ることができ、うれしく思いました。

4 月 8 日は、入学式が行われました。前日、6 年生が会場や 1 年教室をきれいに整えてくれました。進んで仕事を見付け、1 年生のことを思って気持ちよく働いていて、きのと小の最高学年にふさわしい姿でした。入学式当日も 1 年生の案内をしたり、すばらしい態度で式に臨んだりして、さすが最高学年！と感心しました。2 年生から 5 年生もよい姿勢、大きな歌声で歓迎の気持ちを表しました。1 年生の大きな声の返事からは“がんばるぞ”の気持ちが伝わりました。多くの方に見守られ、温かい入学式になりました。ありがとうございました。

今年度の始業式や入学式では、「よかった」がいっぱい感じられる学校にしよう！と話しました。

自分にとって、いいことがあった時や何かができる時は「よかった」を感じやすいと思います。でも、見方を変えれば、思い通りにいかないことの中にも「よかった」を見つけることができるはずです。「勉強が難しかったけど、いつもよりよく話を聴いたり、しっかり考えたりすることができた」や「友達とけんかをしたけれど『ごめんね』が言えて、前よりもっと仲よくなった」など…。そのように考えることで、「よかった」という気持ちがたくさん生まれる学校にしましょう、と。子どもたちだけでなく、お家の方や地域の方、先生方にも「よかった」と思っしてほしいと伝えました。

先日、「どうすれば、きのと小学校にたくさんの『よかった』が生まれるか」をテーマに職員で作戦会議を行いました。きっと、この会議で出てきた様々な視点から、子どもたちの「よかった」を引き出したり、見付けたりしてくれるのでは、と期待しています。

「きのと小でよかった」と、きのと小にかかわる全ての方が思ったださるような学校をみんなで創ってまいります。

今年度も、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

